

兵庫県立芸術文化センタープロデュース

sound theater IV

サウンドシアター IV

森山開次

レ・フレールの楽曲を初めて舞う！

パフォーマーとミュージシャンの競演、響演に毎回客席が大興奮！
今回は国内外で大活躍の森山開次(ダンサー)、
レ・フレール(ピアノデュオ)が初共演で本公演に初登場！
稲本渡(クラリネット) 向井航(チェロ)も出演する期待の公演。

2014年

5/17 5:00PM開演 (4:30PM開場) (土) 18 2:00PM開演 (1:30PM開場) (日) 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

阪急西宮北口駅南改札口から連絡デッキで直結/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

【一般発売】1月12日(日) 【芸術文化センター会員先行予約受付開始】1月11日(土) 【入場料】¥5,000(全席指定・税込)

【主催】
兵庫県 兵庫県立芸術文化センター
【企画・製作】
兵庫県立芸術文化センター

【ご予約・お問い合わせ】芸術文化センターチケットオフィス ※窓口での販売(残席がある場合)は1月13日(月・祝)より
0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM/月曜休※祝日の場合翌日) 【インターネット予約】<http://www.gcenter-hyogo.jp>

未就学児はご入場いただけません。やむをえない事情により、公演内容、出演者に変更が生じる場合がございます。その場合チケットの払い戻し等は行いませんので予めご了承ください。

森山開次写真 = 撮影:奥口睦 レ・フレール写真 = photo by Yuu Kamimaki 稲本渡写真 = 撮影:岸隆子 宣伝美術 = トプペーター



兵庫県立
芸術文化センター



撮影:石塚定人

森山開次

Kaiji Moriyama <http://kaijimoriyama.com>

ダンサー・振付家。神奈川県生まれ。21歳でダンスを始める。1999年以降、多くのダンス公演・TVCFなど幅広いジャンルで振付を担当。しなやかながら直線的で、空間を切り裂くような表現に定評があり、01年エジンバラフェスティバルにて「今年最も才能あるダンサーの1人。彼一人のために観に行く価値あり」(英・Scotsman誌)と評される。同年自身の演出振付によるソロ作品の発表を開始。初ソロ公演「夕鶴」以降、和の素材を用いた独自の表現世界で知られ、能を題材とした『弱法師』『OKINA』で高い評価を得る。05年ソロ作品『KATANA』にて「驚異のダンサー」(米・New York Times紙)と評され、07年ヴェネチア・ビエンナーレ招聘、『The Velvet Suite』発表。09年『森山開次作品集』、10年『TSUBASA』と国内海外で作品発表を重ね、12年『曼荼羅の宇宙』(主催・新国立劇場)にて芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞、松山バレエ団顕彰・芸術奨励賞を受賞。13年『LIVE BONE』(劇場版)を発表のほか、東京国体総合開会式・式典演技(味の素スタジアム)メインパフォーマー、平成25年度文化庁文化交流使にコンテンポラリーダンサーとして初の任命を受けインドネシア・ベトナム・シンガポールへ渡航するなど活躍の場を拡げている。振付家として12年「全国植樹祭やまぐち」開会式メインアトラクション、13年『LINE』TVCF、女子高生80名と共演の「光・かきつばた姫」を担当、大きな話題となる。ダンスのみならず、演劇・映像・ファッション・写真作品など、分野を横断し自在にクリエイションを重ねる独自の活動形態は、現代のダンスシーンにおいて強烈な存在感を放っている。ダンス以外の主な作品に、映画「茶の味」「カムイ外伝」「たまたま」、演劇「スケリグ」「サロメ」「家電のように解り合えない」「ポリグラフ」、ミュージカル「ダンス・オブ・ヴァンパイア」、テレビ「からだであそぼ」レギュラー他、「トップランナー」「情熱大陸」「課外授業 ようこそ先輩」「旅のチカラ」「日曜美術館」「未来シアター」等で取り上げられるなどメディアの注目度も高い。また、日本ユニセフ協会「世界手洗いダンス」の振付を手がけ、09年以降乳幼児への手洗い普及プロジェクトに継続して参加している。14年出演映画公開予定。

レ・フレール Les Frères

<http://lesfreres.jp>

斎藤守也(さいとうもりや・兄)と斎藤主土(さいとうけいと・弟)の兄弟によるピアノデュオ。兄弟ともに15歳よりルクセンブルク国立音楽学校に留学。ガーリー・ミュラー氏に師事し、クラシックピアノを学ぶ。コンポーザー・ピアニストとしてオリジナル楽曲の制作とライブを両輪に活動。故中村とうよう氏(音楽評論家)に「斎藤守也・主土の音楽は、いま世間一般に流通するどの音楽ともまったく似ていない。『芸術新潮』2008年11月号」と評された独創的な楽曲とピアノプレイスタイル「キャトルマンスタイル※」を兄弟2人で確立。02年9月3日、出身地である横須賀のライブハウスにおいて「レ・フレール(フランス語で「兄弟」を意味する)」として活動を開始すると、その斬新かつ繊細なプレイスタイル(1台4手連弾)、交響曲や器楽セッションを想起させるオリジナル楽曲、そしてライブパフォーマンスにより瞬時に日本全国で「ピアノ革命」と話題となる。06年11月8日にリリースしたメジャーデビュー作『PIANO BREAKER / ピアノ・ブレイカー』(Universal Music)はオリコンウィークリーチャートにおいてピアニストデビュー作歴代最高位を塗り替え、史上初のTOP20入りを果たし、さらにゴールドディスクを獲得。オリジナル楽曲をベースとしてオーケストラやソロアーティストとの融合を行うなど独自のアプローチで「連弾」を追求。ジャンルを問わず、あらゆる年齢層を惹き付け、聴く人の魂を揺さぶる熱いオリジナルサウンドは着実に評価を高め、フランス・ベルギー・韓国でもメジャーデビューを果たし、ヨーロッパ各国・韓国・オーストラリアの主要都市などでツアー。ピアノ一台で世界各国の聴衆を熱狂の渦に巻き込んでいる。楽曲制作・提供では、テレビCM(ハウス食品・ハウスウェルネスフーズ・八木木材産業・YOUテレビ他)、舞台(宝塚歌劇作品『オネーギン』他)、映画(『4分間のピアニスト』)、テレビ番組(TBS「はなまるマーケット」エンディングテーマ)など、多方面にわたり、各業界からの支持も厚い。さらに、結成時から続けている保育園や幼稚園での演奏活動や、災害復興を機にプロジェクト化した「こどもたちへの音楽支援活動」を全国各地で行うなど、次世代のこどもたちへの芸術文化発展にも大きな力を注ぎ、「レ・フレール」という唯一無二の音楽ジャンルを形成しながら世界に向けて発信し続けている。また、コンポーザーとして13年8月21日に斎藤主土が「音楽家たち」、同年11月6日には斎藤守也が「旅」をユニバーサルミュージックよりリリース。彼らのコンポーザーとしての魅力を堪能できる。※「キャトルマン」はフランス語で「4本の手」=「連弾」のことを言う。通常2本の手で成し得ない可能性を4本で探りながらできたレ・フレールのプレイスタイルを「キャトルマンスタイル」と名付けた。



photo by Yuu Kanimaki

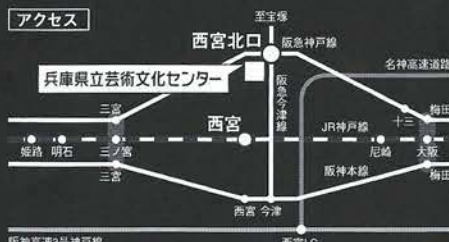
稲本 渡 (クラリネット) Wataru Inamoto

大阪・堺の音楽一家での音楽活動の中で育ち、5歳でステージデビュー。吹奏楽の名門大阪府立淀川工業高校吹奏楽部で部長・コンサートマスターを兼任、全日本アンサンブルコンテスト金賞、全国選抜大会史上初の春・夏グランプリ等を受賞。オーストリア国立グラーツ音楽大学在学中は国際音楽週間2001年度・02年度のオーストリア代表に選ばれ、Yehudi Menuhin奨学生としてもヨーロッパ各地で活躍。同大学を最優秀で卒業。オーストリア・グラーツ国際音楽院講師も務めた。08年~11年は佐渡裕率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団に所属。京都御苑での奉納演奏、村治佳織、藤原道山、バレエダンサー西島千博、ドラマ師石川直との共演の他に「星の王子様」「弥々」(共に穂谷友子主演)「イブラヒムおじさんとコーランの花たち」(高嶋政伸主演)などの舞台、映画「スープ・オペラ」にも出演。また各地でコンクールの審査員を務め、後進の指導にも尽力している。「バンドジャーナル」にワンポイントレッスンを13年3月まで連載。大阪・中之島のライブハウスレストラン「Saint-Louis Amuse」にプロデューサーとして参加。「sound theater」には初回から連続出演。

向井 航 (チェロ) Wataru Mukai

東京芸術大学音楽学部附属音楽高校、東京芸術大学、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。在学中からスタジオミュージシャンとして活動、これまでにX JAPAN、TUBE、浜崎あゆみ、松田聖子など多くのアーティストのレコーディングやライブで演奏。1999年~2002年には小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト音楽塾オーケストラなどに参加。また、ヴァイオリニスト室屋光一郎と「クラスタシア」を結成し、アルバムCDをリリース。フジテレビ「のだめカンタービレ」のドラマと映画の演奏指導に携わり、「のだめオーケストラ」にも首席チェロ奏者として参加。06年CHANELビグマリオンデイズのアーティストに選出され、CHANEL銀座エクサスホールにおいて年間10回のソロサイトを開催し、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」等でもとり上げられた。07年より関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席チェロ奏者。08~10年には世界的ヴァイオリニストオーギュスタン・デュメイ氏と室内楽で共演。09年「久石譲ミニマリズムツアー2009」において、「Departures」(映画・おくりびと)を久石譲指揮・関西フィルと共演。「sound theater」には第2回以外に出演、稲本渡との「響演」には定評がある。

2014年
5/17 5:00PM 開演
(4:30PM 開場)
(土)
18 2:00PM 開演
(1:30PM 開場)
(日)



兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口直結(連絡デッキで直結)JR西宮駅徒歩15分(阪急バス7分)

【ご予約・お問い合わせ】芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM/月曜休※祝日の場合翌日)

【インターネット予約】<http://www.gcenter-hyogo.jp>

チケットぴあ 0570-02-9999 [コード214-352]

ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) 0570-084-005 [コード52901]

イープラス <http://eplus.jp> (パソコン・携帯)

※プレイガイドでのお取り扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。

【入場料】¥5,000(全席指定・税込) 【一般発売】11月12日(日) 【芸術文化センター会員先行予約受付開始】1月11日(土) ※窓口での販売(残席がある場合)は1月13日(月・祝)より